

2022 年度(第 93 回) 関東支部研究発表会 開催挨拶

2022 年度関東支部研究発表会の開催にあたりまして、関東支部を代表してひと言ご挨拶を申し述べます。2020 年 1 月以来、猖獗を極めた新型コロナウイルス感染症は未だに予断を許さない状況にあります。それに適応するために人びとの生活様式は随時変容して参りました。さらに新型コロナウイルス自体の変異もあって、社会全体を平常に戻そうとする復元力が強く働き、そのことに対する社会的合意も得られつつあるように思います。

そこで 2022 年度の関東支部発表会は四年ぶりに対面で開催することにいたしました。会場の早稲田大学西早稲田キャンパスの選定にあたっては支部研究運営委員会の皆さまにご尽力いただき、特に早稲田大学建築学科の高口洋人先生および石田航星先生には大変にご苦労をお掛けいたしました。この場をお借りしてあつく御礼を申し上げます。

さて本年度の研究発表は 283 件となり、昨年度よりは一割ほど少なくなったもののほぼ例年並みの参加をいただいたことに感謝の念を抱くと同時に安堵しております。研究発表は 2 月 27 日および 28 日の両日に七つの会場において同時並行で行われます。また、防火専門研究委員会主催の防火講演会も企画されました。これらの講演者や司会者をはじめとしてご参加いただく皆さまがた、およびこの発表会を運営していただく関東支部事務局にあつく御礼を申し上げます。

本研究発表会では、例年通りに下記の二つの審査が行われます。

1. 若手優秀研究報告賞

投稿者が審査を希望するものから優れた研究成果を慎重に審査し、関東支部研究発表会において優秀な研究報告を行なった若手研究者(満 30 歳以下)を表彰する。

受賞数: 審査希望研究報告数の 10%以内

2. 優秀研究報告集

投稿者が審査を希望するものから優れた研究成果を慎重に審査し、優れた研究報告について「優秀研究報告」であることを明記して、「日本建築学会関東支部優秀研究報告集」に掲載する。

掲載数: 審査希望研究報告数の 20%以内

この研究発表会において丁々発止の議論を交わすことによって参加される皆さまが豊かな稔りを手にすることを願ってやみません。皆さまのご活躍を期待しています。

関東支部長 北山和宏 (東京都立大学)